

プログラム

特別講演

9:50～10:50 第1会場(2階 ピアザホール)

座長：木岡 和実(びわこリハビリテーション専門職大学、滋賀県作業療法士会 会長)

日本作業療法士協会の動向と未来 ～求められる組織の役割と専門性の追求～

講師：山本 伸一 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

教育講演 1

11:00～12:00 第1会場(2階 ピアザホール)

座長：小川 真寛(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 教授)

作業がつくる空間と時間

講師：吉川 ひろみ 県立広島大学 名誉教授

教育講演 2

13:30～14:30 第1会場(2階 ピアザホール)

座長：岩根 達郎(京都府立洛南病院 リハビリテーションセンター)

作業療法における共創 ～患者・市民参画が拓く実践と研究～

講師：川口 敬之^{1,2)}、加藤 伸輔²⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部

2) NPO 法人メンタルヘルス共創拠点ピアウェル

教育講演 3

15:40～16:40 第2会場(3階 大会議室)

座長：高畑 進一(京都橘大学 健康科学部 作業療法学科 教授)

脳卒中後の麻痺側上肢の随意運動を引き出すために脳をどう変えたいか ～運動観察・運動イメージの可能性：基礎・臨床研究の観点から～

講師：藤原 謙吾 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 先端作業療法学講座 臨床認知神経科学分野

シンポジウム

14:50～16:20 第1会場(2階 ピアザホール)

[地域共生社会にむけた作業療法の活躍の場 ～私が考える作業療法士の可能性について～]

座長：乙川 亮(滋賀県立リハビリテーションセンター)

“地域で育つ”を支える作業療法 ―実践から見える可能性と課題―

シンポジスト：渡邊 和湖 合同会社和湖(あうとりーち和泉)

旅客運送業のエイジフレンドリー推進に活かす作業療法の視点

シンポジスト：森山 雄宇¹⁾、藤井 寛幸²⁾

1) 有限会社いやタクシー 代表取締役

2) 株式会社フジコーポレーション 代表

受け身を入り口とした生活参加への関わり ―整容(美容)を用いたリハビューティの実践―

シンポジスト：川村 真理子 訪問介護美容ときの音 代表取締役

人と社会をつなぐ作業療法

シンポジスト：足立 一 学校法人高知学園 高知リハビリテーション専門職大学 教授

誰もが安心して働き続けられる職場を目指して ―作業療法士が拓く企業内支援の可能性―

シンポジスト：大村 蓮華 ヤンマーシンバイオシス株式会社

業界も境界も超える作業療法 ～作業療法の曖昧さを武器にする～

シンポジスト：久保田 好正 株式会社斬新社 代表取締役

テクニカルセミナー1

12:10～13:20 第3会場(2階 203会議室)

座長：原田 佳典(滋賀医科大学医学部附属病院)

作業療法における自己の治療的利用 一人間作業モデルと意図的關係モデルによる実践の可視化と構造化

講師：鹿田 将隆 常葉大学 保健医療学部 作業療法学科

テクニカルセミナー2

12:10～13:20 第6会場(2階 204会議室)

座長：林 朋一(奈良県総合リハビリテーションセンター)

作業療法でつなぐ滋賀県の自動車運転支援 ～他職種と共に作った協議会～

講師：奥野 隆司 佛教大学 保健医療技術学部 作業療法学科

テクニカルセミナー3

12:10～13:20 第5会場(2階 207会議室)

座長：井口 知也(大阪保健医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 教授)

地域共生社会の実現に向けた認知症支援

講師：永田 優馬 奈良学園大学 保健医療学部 助教

テクニカルセミナー4

12:10～13:20 第4会場(3階 305会議室)

座長：加納 雪絵(社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター草津)

子どもの未来に貢献できる作業療法の可能性 ～豊かな育ちを共に支える身近な存在を目指して～

講師：松島 佳苗 関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科 准教授

近畿作業療法士連絡協議会 連携6事業報告

13:30～14:30 第2会場(3階 大会議室)

司会：西井 正樹(近畿作業療法士連絡協議会 代表幹事)

災害支援対策事業 - 「災害支援対策事業報告」

明間 順子 和歌山県作業療法士会

認知症支援事業 - 「近畿のつながりを活かした認知症支援事業の課題と展望」

森 志勇士 京都府作業療法士会

バリアフリー事業 - 「バリアフリー2025における作業療法の普及啓発活動」

佐平 安紀子 兵庫県作業療法士会

OT自動車運転支援ネットワーク事業 - 「これまでとこれからの取り組みについて」

笹沼 里味 兵庫県作業療法士会

次世代リーダー育成 - 「学び続けるリーダーへ

～生涯学習制度をどのように活用していくか～

西井 正樹 奈良作業療法士会

精神科作業療法ワーキング - 「近畿精神科 OT ワーキングの取り組み

～つながりの中で、これからの精神科作業療法を考え続ける～

小川 泰弘 大阪府作業療法士会

日本作業療法士協会 新生涯教育セミナー

13:30～14:30 第5会場(2階 207会議室)

座長：鈴木 崇孔(南草津病院)

現代の社会における作業療法士のあるべき姿を示す「生涯学習制度」の理解

講師：丹羽 敦 (一社)日本作業療法士協会 理事(教育部長)

企業セミナー

11:00～12:00 第5会場(2階 207会議室)

企業名: FrontAct 株式会社

座長: 中村 春基(千里リハビリテーション病院 副院長)

麻痺手の機能回復と生活内使用を促進する新たなリハビリテーション戦略 ーAI 統合・筋電応答型外骨格ロボットの活用ー

講師: 大瀧 亮二 東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

機器展示・事業展示ブース

10:00～16:00 (3階 303-304会議室・大会議室前)

機器展示

Front Act 株式会社
株式会社 LIFESCAPES
株式会社 マネージビジネス
DUPLODEC 株式会社
株式会社 SANMATSU
株式会社 テクリコ
Unique Education Planning

事業展示

びわこリハビリテーション専門職大学
ボッチャ専門店ストライカスポーツ
チームエンパワーメント

新生涯教育制度相談ブース

14:30～16:30 (3階 303-304会議室)

食事スペース

12:10～13:20 第2会場(3階 大会議室)

一般演題（口述発表）

口述発表1

13:30～14:30 第3会場（2階 203会議室）

[身体障害1]

座長：安田 貴光（介護老人保健施設美樟苑）

- O1-1** 脳卒中片麻痺者のトイレ動作獲得に向けた ADOC-H の活用
柴田 大貴 医療法人財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院
- O1-2** 脳卒中後遺症者の麻痺側上肢に対して早期から両手活動導入とその後の改善の報告
守屋 篤志 医療法人芙蓉会 南草津病院
- O1-3** 洗体動作の自立といった成功体験が活動性向上につながった訪問リハビリの一症例
山下 由香理 医療法人芙蓉会 南草津病院
- O1-4** FIM 自立後も残存した食事動作の不便さに対する上肢機能介入の一症例
一右被殻出血後左片麻痺患者への外来リハビリテーションの経験から一
古坂 哲也 医療法人芙蓉会 南草津病院

口述発表2

13:30～14:30 第4会場（3階 305会議室）

[身体障害2]

座長：大賀 隆正（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

- O2-1** タイプ A 傾向を有する重度右片麻痺症例に対する手指ロボット訓練
性格特性を踏まえた設定調整と画面表示の工夫
後藤 留菜 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
- O2-2** 重度感覚障害を呈した脳卒中片麻痺患者に対し、
知覚運動アプローチが書字動作獲得に有効であった一症例
吉村 知恵 三田市民病院
- O2-3** 左半側空間無視を呈した脳梗塞患者に対する tDCS と包括的リハビリテーションの効果
一座位安定化と食事場面での食べ残し改善に着目して一
末吉 洸貴 医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院、
関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
- O2-4** 人工肘関節置換術後の尺骨神経障害に対し、知覚再教育介入を実施した一例
前西 広太 医療法人晋真会 ベリタス病院 診療協力部 リハビリテーション科

口述発表3

13:30～14:30 第6会場（2階 204会議室）

[身体障害3]

座長：秋田 翔大郎（十条武田リハビリテーション病院）

- O3-1** 重要度が高かった食事動作への作業療法介入を行うことで
遂行度や満足度が向上した左上肢多発骨折症例の一症例
見城 佑紀 医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター
- O3-2** ボタン操作に対する満足度向上が肯定的発言の増加に寄与した
アテローム血栓性脳梗塞の一症例
上田 三桜 医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター
- O3-3** 介護保険の狭間にある脊髄空洞症患者への支援の急性期病院における課題
松村 真吾 滋賀県立総合病院
- O3-4** 認知機能低下が進行する前に本人の意向を聴取し介入に反映できた
クロイツフェルト・ヤコブ病の一症例
原田 健矢 地方独立行政法人 市立吹田市民病院

口述発表4

14:35～15:35 第3会場(2階 203会議室)

[身体障害4]

座長：井上 慎一(神戸市立医療センター 中央市民病院)

- O4-1** 左重度片麻痺を呈した対象者への ADOC を用いた面接介入の一事例
— 仏壇へのお供え動作の再獲得に着目して —
森田 凜 医療法人社団六心会 伊丹恒生脳神経外科病院
- O4-2** 肩甲帯安定化と機能回復を考慮した段階的訓練により
食事動作の自立に至った右橋梗塞の一症例
本田 真々子 医学研究所北野病院
- O4-3** 急性期脳血管疾患患者における自宅退院に関連する因子の検討
橋本 裕樹 社会医療法人若弘会 若草第一病院
- O4-4** 回復期脳卒中患者の退院時 Fugl-Meyer Assessment 上肢スコアの予後予測モデルの構築：
重症度に応じた予測モデルの探索的分析
平山 幸一郎 医療法人えいしん会 岸和田リハビリテーション病院、
岸和田リハビリテーション病院 脳卒中リハビリテーション研究所

口述発表5

14:35～15:35 第4会場(3階 305会議室)

[身体障害5]

座長：富永 渉(びわこリハビリテーション専門職大学)

- O5-1** 失語症を呈する患者へ掃き掃除を通じた外部環境との関わりに向けた作業療法介入について
千代 怜央 医療法人社団阿星会 甲西リハビリ病院
- O5-2** 上衣更衣動作獲得を目指した右前頭葉出血患者を通して、
病棟での動作獲得に難渋したが TPM を使用し自立に至った一症例
花房 駿希 医療法人医誠会 茨木医誠会病院
- O5-3** Limb Activation Training に基づいた急性期脳卒中後の半側空間無視および
上肢麻痺に対する作業療法介入：1 症例報告
東森 壱斗 関西電力病院 リハビリテーション部
- O5-4** 被害妄想がみられる認知症高齢者に対してマズローの欲求階層説を用いて
介入を行った事例
嶋吉 晃宏 社会医療法人生長会 介護老人保健施設ベルアモール

口述発表6

14:35～15:35 第6会場(2階 204会議室)

[身体障害6]

座長：河津 拓(びわこリハビリテーション専門職大学)

- O6-1** 動作様式および環境設定が生活動作時の活動強度(METs)に及ぼす影響
— 健康者を対象とした探索的検討 —
脇田 喜芳 滋賀医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- O6-2** 悪性脳腫瘍患者の作業参加に影響を及ぼす因子の調査
— 入院時の患者報告アウトカムからの検討 —
原田 佳典 滋賀医科大学医学部附属病院
- O6-3** 高齢内部障害患者における入院関連機能障害のリスク因子とカットオフ値
— 在宅生活支援に向けた多職種連携の視点から —
福井 恵 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター
- O6-4** 食事場面において、病態を踏まえた動作指導により呼吸困難が軽減した間質性肺炎症例
宮崎 隆之 関西電力病院 リハビリテーション部

口述発表7

15:40～16:40 第3会場(2階 203会議室)

[身体障害7]

座長：藤田 拓郎(済生会滋賀県病院)

- O7-1** 足趾移植による母指 MP 関節再建症例の把握様式についての検討
藤村 春香 関西電力病院 リハビリテーション部
- O7-2** 当院における母指 CM 関節症に対する Mini-tight Rope[®]を用いた Cross-coupling suture button suspensionplasty 法の関節形成術後プロトコールについて
東井 千佳 医療法人財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院
- O7-3** しびれ同調 TENS と食事環境調整を併用した介入が食事動作再獲得に繋がった中心性脊髄損傷患者の一症例
藤原 彩花 医学研究所北野病院
- O7-4** 術後 C5 麻痺を呈した頸椎損傷患者に対し修正 CI 療法を導入した結果、右上肢の使用行動変容を認めた一例
岩本 海斗 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

口述発表8

15:40～16:40 第4会場(3階 305会議室)

[地域、発達障害]

座長：藤井 宏美(びわこ学園医療福祉センター草津)

- O8-1** 重症心身障害児における食事行為の再構築と長期維持
—対人関係を手がかりとした文脈転用支援の一症例—
本田 慎一郎 リハ塾 SHIN, 放課後等デイサービス青い鳥
- O8-2** 放課後等デイサービスの作業療法士がつなぐ児とスタッフ
—やりとり遊びと情報共有が与えた変化—
前田 亮輔 こども発達支援ルーム PLANET
- O8-3** 他施設 OT による OJT と MTDLP の併用が未経験領域の OT 実践力向上に与える一考察
～小学校中学年児への訪問作業療法の一事例～
加藤 智志 公益財団法人豊郷病院 訪問看護ステーションレインボウとよさと
- O8-4** 在宅における終末期がん患者に対する看護師と療法士の連携
～医療用麻薬で痛みをコントロールし、患者の望む活動を可能にする～
米村 真砂美 訪問看護ステーションオレンジツリー

口述発表9

15:40～16:40 第6会場(2階 204会議室)

[教育、地域]

座長：中井 秀昭(京都橘大学)

- O9-1** 作業療法学学生の読解特性の構造的可視化
—教員監修による模範解答と学生回答の文章比較を用いた教育実践—
嶋川 昌典 びわこリハビリテーション専門職大学
- O9-2** 総合臨床実習における学生のつまずきが生じる時期
—日次 Challenge × Skill ログと理由文の分析—
西尾 恵 大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻,
星槎大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士後期課程
- O9-3** ソーシャルスポーツの女性進出に向けた調査研究
北中 美紀 大阪医科薬科大学三島南病院 リハビリテーション科,
NPO 法人 日本ソーシャルバスケットボール協会
- O9-4** 自立支援の考え方と介護保険制度が作業療法士の環境整備の専門性に与える影響
—ベトナムと日本の比較—
藤木 悠理 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

一般演題（ポスター発表）

ポスター発表 1

11:00～12:00 ポスター会場（3階 301会議室）

- P1-1** リハビリテーション用ロボティクスデバイスを用いて、
立位・歩行の安定性が向上した廃用症候群の一症例について
～PABLOの有効性についての考察～
岩城 千春 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院
- P1-2** 居宅内移動能力評価としての PASS の探索的实施
—大腿骨転子部骨折患者2症例の検討—
栗谷 明至 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院, 藍野大学大学院 健康科学研究科
- P1-3** 自動車運転再開支援を行った脳卒中患者における退院後の運転状況と運転特性
大野 綾華 医療法人博愛会 広野高原病院
- P1-4** 物品探索課題を用いた注意機能に対する作業療法介入が
トイレ動作自立に寄与したと考えられる一事例
大威 勝暉 大津赤十字病院
- P1-5** 脳卒中後軽度上肢麻痺を呈した一症例に対する CI 療法と運転再開支援を含む多角的介入
—職場復帰に向けたアプローチ—
白石 毅 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院
- P1-6** 抗 NMDA 受容体抗体脳炎により運動失調を呈した症例
—運動学習に着目して—
山本 亜里紗 市立野洲病院
- P1-7** 不安が強いアルツハイマー型認知症患者に対する作業療法
～作業と場所の関係性についての考察～
中村 奈緒子 医療法人恒人会 近江温泉病院
- P1-8** 入学初期に多動傾向を示した児童に対する COPM を用いた学校支援の一事例
堤 勇人 保育所等訪問支援 ハッピーリング
- P1-9** オンライン介入により作業参加と社会参加が拡大した一事例
—3年間不登校状態にあった学童期男児への支援—
加藤 大貴 PAPAMO 株式会社 へやすぼアシスト

ポスター発表 2

11:00～12:00 ポスター会場（3階 302会議室）

- P2-1** 職場構造要因および社会的支援とワーク・エンゲイジメント／プレゼンティーズムの関連：
初期キャリア作業療法士における探索的横断研究
中井 秀昭 京都橘大学 健康科学部 作業療法学科,
大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻 博士課程
- P2-2** 作業療法士養成校入学生の職業選択動機と進路決定に影響する要因の検討
巽 絵理 関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科
- P2-3** 実習における MTDLP 活用の実態と課題
—実習指導者アンケートからの検討—
坂口 雄哉 兵庫医科大学 リハビリテーション学部
- P2-4** 京都府北部における作業療法士の学習ニーズと地域循環型成長への展望
—第12回京都府作業療法学会に向けたニーズ調査—
坂根 勇輝 公益財団法人 丹後中央病院, 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター
- P2-5** インクルーシブな社会に向けた作業療法士としての役割
～「みんなで楽しむシネマ」を開催して～
田中 孝史 チームエンパワーメント, こむぎ訪問看護ステーション

P2-6 生活文脈の揺らぎが通所型介護予防教室への参加決意に与える影響
—地域在住高齢者1事例の構造的分析—

鈴木 耕平 学校法人藍野大学 びわこリハビリテーション専門職大学

P2-7 山間地域の高齢者サロンにおける地域作業療法の実践報告
—生活課題の可視化と協働的実践の展開—

前田 浩二 びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 作業療学科

P2-8 滋賀県循環器病対策推進計画事業への作業療法士の参画
～心不全患者の生活行為パンフレットについて～

上野谷 弘樹 JCHO 滋賀病院

P2-9 思春期入院患者に対する精神科個別作業療法から集団移行のかかわり

高橋 裕子 滋賀県立精神医療センター

ポスター発表3

14:35～15:35 ポスター会場(3階 301会議室)

P3-1 腰曲がりを呈するパーキンソン病者における側方上肢支持テーブル使用の効果
—座位姿勢・筋緊張・呼吸機能・安楽感への影響—

藤 海渡 つじ脳神経内科・訪問診療クリニック

P3-2 超短期的 ICT 活用支援により仕事への意欲と満足度が向上した後期高齢者 ALS の一例

岩倉 慶和 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター、
大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科

P3-3 機能変化を伴わずに箸操作の獲得が見られた症例
—動作のスキル依存性と教師なし学習に着目して—

岡崎 匠真 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院

P3-4 Hand20を指標として上肢・ADL 訓練を進めた結果、ADL と趣味活動が改善した症例

畑 祐子 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

P3-5 言語的表出には変化を認めるも、生活での危険行動が持続した
病態失認を呈した脳卒中症例の経過

本田 朝花 医療法人友誼会 西大和リハビリテーション病院

P3-6 独居女性の美容師復職と運転再開を目指した126日の回復期作業療法プロセス

西川 帆風 医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター

P3-7 作業療法による排尿管理支援：視力低下を伴う神経因性膀胱患者への自助具活用

田口 智崇 医療法人恭昭会 彦根中央病院

P3-8 介護老人保健施設における医療型短期入所利用者の母親における育児ストレスの関連要因

加賀山 俊平 医療法人社団董会 介護老人保健施設 野洲すみれ苑

P3-9 学童期低出生体重児に対する作業療法の評価と介入の現状
～スコーピングレビュー～

小橋 美月 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

ポスター発表4

14:35～15:35 ポスター会場(3階 302会議室)

P4-1 初期キャリア作業療法士のプレゼンティーズム：成長・キャリア機会の重要性

高山 航 医療法人社団恵心会 京都武田病院

P4-2 「料理ができる」とは何を意味するのか？
～一般成人・高齢者における認識と主観的料理レベルの関連～

小川 真寛 神戸学院大学

P4-3 創作活動による地域在住高齢者への MCI 予防・支援プログラムの実践報告
—OT・PT 学生参画による作業療法教育の実践—

山田 大豪 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科(作業療法学専攻)

P4-4 有効視野反応時間は多領域認知機能を反映する指標である

— 認知機能低下前駆期との関連 —

田丸 佳希 京都橘大学 健康科学部 作業療法学科

**P4-5 パラスポーツ競技選手に対する個別メンタルトレーニングおよび
相談支援の実践と主観的評価**

小黑 修 医療法人尚生会 湊川病院

P4-6 三次元動作解析を用いた全趾伸展課題における足趾伸展角度測定信頼性

安部 征哉 びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
京都工芸繊維大学大学院 工学科学研究科

**P4-7 多職種連携演習における他職種学生の作業療法理解の変容
— 計量テキスト分析を用いた検討 —**

原田 佳奈 学校法人 神戸滋慶学園 神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科

**P4-8 慢性疼痛と抑うつが悪循環に対し、共感的関わりと価値ある活動を契機に
疼痛軽減と活動参加向上を認めた一症例**

荏部 直寿 医療法人社団南淡千逢会 南淡路病院

近畿作業療法士連絡協議会 表彰式

時間：14時40分から15時10分(30分)

場所：ピアザ淡海 大会議室

昨年度より、近畿作業療法士連絡協議会では、本協議会における作業療法に貢献した方々を表彰することとなりました。本協議会の表彰式では、作業療法士の皆様の努力と献身を讃え、共に、地域社会への貢献を広く認識することを目的としています。

以下6名の方々が表彰されます(敬称略：50音順)。

- | | |
|--------------------------|--|
| あかまつ ともこ
赤松 智子 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第23回近畿作業療法学会 学会長) |
| いしぐろ のぞみ
石黒 望 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第34回近畿作業療法学会 学会長) |
| うえだ ただよし
上田 任克 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第20回近畿作業療法学会 学会長) |
| おおまつ けいこ
大松 慶子 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第31回近畿作業療法学会 学会長) |
| たかだ みゆき
高田 美由紀 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第12回近畿作業療法学会 学会長) |
| の だ かずえ
野田 和恵 | — 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第39回近畿作業療法学会 学会長) |

表彰式は、大会議室にて14時40分より開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。本表彰式を通じて、近畿の作業療法の発展と共に、これからも多くの人々に貢献していくことを願っています。皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。